



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和5年度学校だより
No.14 3月号
令和6年3月1日(金)

今を変えれば未来が変わる

間もなく旅立つ6年生を みんなで送る会!!

今年度は、少しずつかもしれませんが、学校行事も様変わりしました。教育活動をかなり制限されていたここ数年とは異なり、何と云っても声を出して思い切り歌えるようになったことが、分かりやすく、また、ありがたい変化の一つです。

2月27日には「6年生を送る会」を開催しました。昨年度は、6年生と5年生のふた学年のみが体育館に集合し、その他の学年はオンラインでつないで、旅立つ6年生に向けて各教室からすべての学級がそれぞれに贈る言葉を届けました。

今年度は全校児童が体育館に集っての送る会です。前渡小の仲間が、一緒に思い出を共有できる大切な時間と空間です。各学年の発表のほか、読み聞かせもあり、実に盛りだくさんでした。

さて、ここで一つ紹介します。普段は児童にスポットをあててこの便りを書いています、今回は少しだけ先生たちに光をあてます。

「6年生を送る会」の企画・運営は、毎年5年生が担当です。今回は「ぜひ先生たちの歌声を届けたい」と提案があり、合唱をすることになりました。この計画が動き出してから一か月以上は経ったのでしょうか。2月16日(金)に初めて音楽室で練習をしました。ひっそりと書かれていた知らせに呼び寄せられるように、先生たちは特別な空間へと足を運びました。みんなやる気満々というよりも、歌うことを楽しんでいるように感じられました。本番前のそろっての練習はざっくりと3回でしたが、1度目から中々やるなという感想をもてる出来でした。先生たち一人ひとりが、人知れず練習に励んでいたようです。

先生たちによる合唱を聴いて児童たちがどんなことを感じたかは分かりませんが、前渡小の先生たちがハーモニーを奏でる姿が、心に残る記憶になっていれどと願います。



令和6年も3月になりました。6年生は、あと十日余りで前渡小から旅立って行きます。1年前には在校生代表として送る会の場に臨み、間もなく巣立つ卒業生に歌を届けました。そのときをもう少し振り返れば、「祝ご卒業おめでとうございます」のメッセージをランドセルとともに背負って、ガッツポーズをしながら力強く床を踏み込んでいた様子を思い出します。当時の姿はしっかりと、後輩である今年の『ゴネンジャー』に受け継がれていました。

各学年の、感謝と祝福の気持ちがいっぱい詰まった発表の終わった後、6年生は在校生の前に立ちました。その「様」は凛々しく、来年度も本校で学校生活を送る児童にはぜひ映しとってほしい立派な先輩の集団でした。熱心に歌う姿には心震わすものがあり、卒業式の日、今年度卒業生の合唱を再度聴けることが今から楽しみです。

今年の開花予想はまだ分かりませんが、麗かな陽気の日が多ければ、もしかしたら記念すべき卒業式に、桜の花が彩を添えてくれるのではないかと、と秘かに期待します。

野鳥観察

昨年度の6年生を皮切りに始めた「野鳥観察」、今年度は6年生、5年生の二つの学年、約270名の児童が体験しました。当初は今年度中に4年生まで一気に実施する予定でしたが、雨の予報で、3月1日現在、4年生のみ未実施となっています。

今後は毎年度4年生の行事としていきます。その理由は、これまでに多くの学校で実施してきた野鳥の会の方の助言により、発達段階に最も適した年齢、学年だとのことだからです。

観察の当日は、野鳥を見にフィールドトリップに出るまえに、校庭で事前学習をします。その際に登場するのは3種の鳥類です。それらの大きさについて尋ねると、6年生は正しく並べ替えることができました。でも5年生になると大きさがあやふやな児童が意外といました。それが4年生になると、もっと曖昧な児童がさらに増えるそうです。たかだか1学年しか違いませんが、小学生の1年の差は思った以上に大きいことがよく分かります。しかしながら、実際に野鳥を見た際の反応は4年生が最もよく、知的好奇心の高さも桁違いだとのこと。そこを踏まえて、2年をかけて4年生まで学年を引き下げる計画を立てました。

さて、今年の野鳥観察の様子に少し触れます。普段、身の回りにいる鳥を見かける機会は毎日のようにありますが、レンズ越しに見る鳥の臨場感は格段に違います。信じられないかもしれませんが、中には「餌をほおぼるカラスが可愛いらしく見える。」と感想を漏らす6年生女子もいました。

野鳥観察の副産物として、鳥の図鑑や双眼鏡、そして望遠鏡を早選手に入りたいと思立った児童もいたようです。お年玉をこういうところに使うのもよいかもしれません。

何にしても晴れも天の気、雨も天の気です。よりよいお天気に恵まれる日の到来を待ち望みます。



前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に
 Key Word : 間が大事 笑顔さわやか わくわくと 宝は仲間 理想に向かって
 めざす学校像 : 黙って働き 読書に親しみ そして 時に歌を口ずさむ学校



2年生

2年生は図工の授業で、「とろとろえのぐ」をしました。とろとろの粘土と、絵の具を混ぜた材料で、筆ではなく、自分の指をつかって絵を描きました。指先や、指の腹を使って模様をつけたり、手のひらなどを使ってアクセントをつけたりするなどして、工夫をこらして絵を描きあげました。絵の具とはちょっと違う出来上がりになりそうですね。完成が楽しみです。



3年生

3年生のクラブ見学の写真です。クラブ見学では、来年度のクラブを何にするか考えながら、楽しく見学しました。4年生になったら選んだクラブで楽しみたいという思いが伝わってきました。いよいよ3年生は残り3週間ほどで終わりです。今年度の学習の取りこぼしがないように、日々の復習と、次の学年に向けての心構えをしっかりともち、4年生になってほしいと思います。

4年生の図工の「ほってすって見つけて」の学習の様子です。彫刻刀を使って木版画を彫っています。初めて使う彫刻刀の前に興味津々に取り組んでいます。好きな動植物をテーマに、様々な種類の彫刻刀を使い分けて仕上げる作品の完成が楽しみです。



4年生



6年生

2月16日(金)、6年生にとって最後の授業参観になりました。保護者の皆様、温かい眼差しと声かけをありがとうございました。

将来に向けての決意表明で、保護者の方の前で発表する姿はとも凛々しく、成長を感じる瞬間でした。この発表までに、すんなり一字を決定する子、悩みに悩み抜いて決定する子、それから緊張する子など、さまざまな様子が見られました。自分を見つめて、一生懸命に考えた文字と決意を、忘れずに歩いていくことを願っています。



5年生

5年生の野鳥観察会の様子です。双眼鏡や望遠鏡で様々な野鳥を観察することができ、野鳥に対する興味や関心が高まり、自分でもやってみたいという児童もいました。この経験をしたことで身の回りの自然環境にこれまでよりも目が向くようになり、長い目で見て、環境の保護や環境を改善しようという意識が芽生えればよいなと思います。

生活科の「もうすぐ2年生」の学習では、新しく入学してくる1年生をどのように迎えてあげたらよいかを考えました。



1年生

「ぼくたちのときは、お花が飾ってあってきれいだったね。」「どんな行事があるか、はってあったな。」「きれいにおそうじしたいね。」など、新1年生を迎える気持ちが高まっています。今日は花と環飾りをみんなで作りました。